

## 会 議 録

会議の名称	令和6年度 第3回坂戸市立図書館協議会
開催日時	令和7年1月30日(木) 午後3時30分 開会 午後4時32分 閉会
開催場所	坂戸市立中央図書館 2階 視聴覚室
議長(委員長・会長)の氏名	委員長 石橋 妙子
出席者(委員)の氏名・出席者数	服部 菜々子 谷口 義明 石橋 妙子 市川 なお美 高山 かつ子 鴨 由美 貝瀬 由己子 関口 千登世 高橋 好次郎 9名
欠席者(委員)の氏名・欠席者数	なし
事務局職員の職・氏名	館長 小林 幸子 課長補佐 植木 昌美 主任 金子 芳広 主任 久保 彰子 4名
会議次第	1 開会 2 委員長挨拶 3 報告事項 (1) 令和6年度第3四半期利用状況について (2) 令和6年度第3四半期実施事業報告について (3) 令和6年度第4四半期実施予定事業について 4 その他 5 閉会
配布資料	<b>【事前配布】</b> ・令和6年度第3回坂戸市立図書館協議会次第 ・令和6年度第3回坂戸市立図書館協議会資料 ・令和6年度第3回坂戸市立図書館協議会資料の概要  <b>【当日配付】</b> ・坂戸市立図書館協議会委員名簿 ・田中一郎氏と坂戸をめぐる旅～その1～ ・図書館開館40周年記念 絵本作家ワークショップ はたこうしろう先生とヘンテコ動物を作ろう！ ・教養講座 出版社のここだけ話～編集とは？営業とは？ ・絵本の読み聞かせボランティア養成講座

## 会 議 録

	議 事 の 経 過
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会 出席者9名。図書館協議会運営規則第4条第1項の規定により、会議の成立を報告する。
委員長	2 挨拶
委員長	3 報告事項 (1) 令和6年度第3四半期利用状況について
事務局	事務局説明
委員長	意見、質問を求める。
委員	3～4ページ、各館別の利用状況について、昨年度も報告いただいたかと思うが、(2)③の大家分館について、11月～12月に貸出冊数が少なかったのは、工事か何かであったか。状況がわかれば教えて欲しい。 また、リピーターの方が多いということであったが、中央館以外の分館は、高齢者層の方が多いのか。感触でもわかれば教えて欲しい。
事務局	大家公民館（現在の大家地域交流センター）の空調工事によるもので、工事期間中は大家分館も臨時休館となり、貸出冊数も少なくなった。 分館の利用者層は全体的に高齢者層の方が多く、地域にお住まいの方で毎週定期的に通われてご利用いただく方も多い状況である。
委員	色々な電子版が出たりする中で、地域の人が通う大事な拠点であると思うので参考にさせていただいた。
委員長	意見、質問を求める。
委員	意見、質問なし。
委員長	(2) 令和6年度第3四半期実施事業報告について
事務局	事務局説明

委員長	意見、質問を求める。
委員	初めて秋の図書館まつりに参加し、おりがみ教室では難しいものも御指導いただいた。親子で楽しむわらべうたでは、若い両親が赤ちゃんと一緒に参加している姿に感激した。父親が嬉しそうに参加している様子は他ではなかなか見られないのでとても良かった。
委員長	父親が育児に積極的になるのは良いことである。
委員	本学でも、城山中学校の1年生に3日間、美術館に1名、図書館は2名の方に体験学習をしていただいた。すごく真面目で一生懸命に取り組んでくれた。
委員	保育園、幼稚園での貸出しが増えたというのは、何か働き掛けをしたからなのか、それとも自然発生的に増えたのか。
事務局	保育園、幼稚園に図書館から「団体貸出を利用しませんか」という案内を出させていただいた。その結果、1園増え貸出冊数が全体的に増えたという状況である。
委員	これからも積極的にお願いしたい。
委員長	意見、質問を求める。
委員長	図書館まつりの日程を日曜日から土曜日に変更し、来館人数的にはどうであったのか。
事務局	昨年は日曜日に開催し1,286名、今年度は土曜日の開催で1,270名の来館者数であった。
委員長	意見、質問を求める。
委員	意見、質問なし
委員長	(3) 令和6年度第4四半期実施予定事業について
事務局	事務局説明
委員長	意見、質問を求める。

委員	1月16日の坂戸児童センターでの職員出前講座では、どのようなお話をされたのか。
事務局	30分程度のおはなし会で、事前打合せを行いプログラム構成を決め、職員とボランティアで出向き、大型絵本、紙芝居を使い実施した。
委員	3月に予定されている教養講座について、柏書房に決めた経緯を伺いたい。以前、この2名の方にご講演をいただいたことがあった。
事務局	図書館職員の中に講師の方と話す機会があり、図書館に出向き講演することは可能です、とお声掛けをいただいていたため、今回依頼するに至った。
委員	11月の図書館総合展の際に講師の方とお会いしたが、とても積極的な方で、普段なかなか聞けない話である。
事務局	限られた予算であるがお引き受けいただいた。
委員	本学では講演会の際、学生選書と言って出版社の本を学生が選び、新刊本を図書館に受入れるというイベントと絡めて開催した。
委員	教養講座の申込みの仕方について、ホームページから申込みが出来るのであれば、若者にとっては便利である。
事務局	ちらしのQRコードは、電子申請ではなく、サイトにアクセスするためのもので、電子申請については発展途上ということで御理解いただきたい。
委員	先着順で電話受付等もあり難しい点もある。
事務局	時代の流れとして、昨年度も電子申請について御意見をいただいた。何れは導入したいと考えており、御理解いただきたい。
委員	1月に、地域相互協力図書館の近隣の公共図書館と本学の連携で行っている公開講座を開催した。漢方の話で、元薬学部教授に来てもらい大変好評であった。
委員	質問ではないが、40周年記念ということで、皆さんがこの図書館の建物に愛着を持たれていると思うので、楽しみに参加できるのと、終わってからが良いと思うが、40周年の振り返りとして来年度、歩んで来た変遷

	<p>を展示できるといいと思う。</p>
委員	<p>大人のためのおはなし会の募集人数は30名だったかと思うが、以前は50名入っていただけだ。30名だと話をする側はいいが、何となく聞いている方は周りが寂しい雰囲気であり、コロナになってからそのようなことが多いので、早くもっと多くの皆さんに聞いていただけるようになればよい、と思っている。楽しいお話が沢山あるのでご参加いただきたい。</p>
委員	<p>絵本の読み聞かせボランティア養成講座について、3月に全3回予定されているが、これは初めてではなく、毎年開催している講座だと思うが、この養成講座を受けた方たちは、そのままボランティアとして活動される方に向いているのか。</p>
事務局	<p>昨年の状況だと、受講者全てがボランティア登録をされる訳ではなく、半数くらいの方が登録いただいている状況である。</p>
委員	<p>講座の後に、図書館でボランティアとして活動することを条件として募集している訳ではなく、図書館に限らずどこかで読み聞かせボランティアとして活動できるような素地のようなものを勉強されるということなのですね。この図書館で養成講座を受講したのだから必ずここで活動してください、という制限を設ける訳にはいかないと思われるため、何処かで活動のきっかけにしてください、という趣旨でこの講座を開催されている訳ですね。</p>
事務局	<p>実際に、図書館でボランティアをしたいがどうしたらよいか、という問合せもある。そのような方たちには、ボランティア養成講座を開催するので、こちらを受講後に、ボランティアに登録いただける旨の案内をしている。</p>
委員長	<p>今、読み聞かせボランティアをしている方たちのスキルアップのために、この講座に参加してもいいのか。</p>
事務局	<p>以前には、もう一度、ご自身の勉強のために受講したい、という方もいたが、この講座は基本的にボランティアが初めての方が対象である。</p>
委員	<p>蔵書のことについてであるが、現状、学校には一人一台端末が導入されている。以前子どもたちは、調べ学習は本を頼りに行っていたが、現在はパソコンで簡単に調べられるようになってきた。例えば、前はアメリカ合衆国や外国について調べたい場合は、図書館で本を用意してもらい、学校に届けてもらっていたが、今はそのようなニーズはあまりないように思わ</p>

	<p>れる。むしろ、子どもたちの心の教育が重要だと考えられる。子どもたちが色々な読み物に触れる機会が減っていることから考えると、調べる資料としてよりは、読み物を充実させていただければと思う。</p>
委員	<p>(10ページ) 今年も読書教室でお世話になった。千代田小学校としては、2日間に分けてクラス毎にストーリーテリング等を行ってもらった。校舎が2か所に分かれているため、2日間、色々なクラスで40分間行っていた後に、移動してもらうのは大変だったのではないかと。</p>
事務局	<p>移動が大変だった、ということはない。</p>
委員	<p>クラス毎だと話し手との距離感も近くて、子どもたちも楽しんでた。</p>
副委員長	<p>昨年12月末に懇談会があり、来年度には新しく公立図書館の基準が変わるようである。その中で提言されたことが4点あった。</p> <p>1点目は、地域社会の活性化と図書館が果たす役割と必要な体制の提示である。図書館の数は各地で増えているが予算が減っており、臨時採用者が7割を超えて来た状況である。予算を組む上で、その市町村でやらなくてはならないこともある。坂戸に自身がお世話になった昭和50年代は人口も増えていく中でそれなりの課題もあった。高齢化が進んでいくと新しい課題も出てくる。色々な面で予算化できるよう館長には頑張ってもらいたい。</p> <p>2点目は、公立図書館と学校図書館との連携で、一体化し連携して運営の充実を図りなさい、ということが出ていた。不読率について、小学校で1か月に1冊も本を読まない子どもが7%くらい、中学校になると10%を超えている状況である。本市図書館が学校とタイアップし、いろいろな事業をやっているということは、他の館に誇れることではないかと思うので、是非充実させてもらいたい。</p> <p>3点目は、障害者福祉の点から、バリアフリー化を図るということがある。近所の図書館だと、前にも話したことがあるかと思うが、川越の霞ヶ関北小学校に隣接する公立図書館が今から10年程前にバリアフリー化のモデルになった。最近見学に行ったがかなり古くなっていた。この館もそうであるが、昨年度、建物の調査費を取っていただいたかと思うが、この館としては着々と予定を組んでやっているのではなかと思う。</p> <p>4点目は、地域に本屋がない所があるという点である。今朝の読売新聞に、本屋がないところとどのようにタイアップして、図書館がやっていくのか、という記事があった。坂戸市に本屋は何軒もあるのでこれには当てはまらぬと思われる。上記の3点の中で、坂戸の中央図書館は建物は40年を経過し古くなったが、事業としては一生懸命やっているのではないかと、と有識者会議の観点から感じたところである。建物については、年数</p>

	と共に古くなるので、バリアフリーを踏まえた図書館のあり方を考えてもいい時期なのではないかと思う。
委員長	意見、質問を求める。
委員	意見、質問なし
委員長	(4) その他について 委員から何かあるか。
委員	◆ 城西大学からの提供資料 ・城西大学水田記念図書館報「Book Mark」vol.178 ・第65回記念 日本版画会展入賞作品展（城西大学水田美術館）
委員	◆坂戸市文化団体連合会主催事業について ・坂戸市文化団体連合会企画公演会 知ろう郷土の歴史を！！ テーマ「うつりゆく千代田～坂戸飛行場の物語～」について
委員長	事務局から何かあるか。
事務局	一つ目は、「図書館を使った調べる学習コンクール」について、先般、全国大会の結果をいただき、坂戸市から推薦した入西小学校5年生の児童の作品が、佳作をいただいたので報告する。 二つ目は、田中一郎先生の版画の展示について、令和6年6月に版画やスケッチ337点について、ご家族より寄贈された。広く市民の皆さんにご覧いただくため、図書館2階の第二展示コーナーに作品を展示することとした。作品については、定期的に展示替えをしていく予定なので是非ご覧いただきたい。 三つ目は、勝呂地域交流センターの空調工事に伴う勝呂分館の休館について、令和7年3月1日から同年6月30日まで勝呂分館を含め全館休館とさせていただく。このため、勝呂分館では、交流センター職員にも協力をいただきながら、予約本の受け渡しを行う予定である。
委員長	他になければ、これで議事を終了とする。
副委員長	副委員長挨拶
事務局	6 閉会 ※第4回の協議会は、3月28日（金）午後3時30分より開催予定

